

御忌大会日程表

日(曜日)	晨朝法要	日中法要	日没法要
5日(月)	10:00 開白 御親修	14:00 日中法要 (行列開始 13:30) [唱導師] 秋田教区本念寺 須田道孝上人 [説教師] 光雲寺 慶野匡文上人	15:30 御歴代大僧正御年忌 尊宿先亡追悼会 式楽師先亡追悼会 御親修
6日(火)	10:00 一宗法要 [御導師] 浄土宗宗務総長 川中光教上人 [説教師] 圓通寺 後藤真法上人 11:00 叙任式	14:00 日中法要 (行列開始 13:30) [唱導師] 東京教区妙定院 小林正道上人 [説教師] 慶岸寺 林田康順上人	15:30 御忌施餓鬼会 百萬霊回向 霊廟・墓地先亡追悼会 諸講中先亡追悼会 御親修
7日(水)	10:20 元祖降誕会 (行列開始 10:00) [御代理導師] 協議員 高柳了志上人 [説教師] 浄蓮寺 郡嶋泰威上人	14:00 日中法要 (行列開始 13:30) [唱導師] 千葉教区大巖寺 長谷川匡俊上人 [説教師] 遍照寺 花田俊岳上人	15:30 結願 御親修

※日中法要是、法要開始時刻より約30分前に大門から練行列が行われます。
※新型コロナウイルスの影響により行事を変更・中止させていただくことがございます。何卒ご理解の程よろしくお願い申し上げます。

◆ 御忌大会のご案内 ◆

新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、本年度の御忌大会は4月5日・6日・7日の三日間に縮小して執り行うことに相成りました。御忌献茶式及び御忌詠唱奉納大会は堂内の感染対策が難しいため中止とし、4月5日から7日に左記の日程で各法要を奉修致します。

〔令和3年4月〕

5日(月)

●10時
〔開白〕

●14時
〔日中法要〕
(行列開始 13時30分)

●15時30分
〔御歴代大僧正御年忌〕

●15時30分
〔尊宿先亡追悼会〕

●15時30分
〔式楽師先亡追悼会〕

●15時30分
〔一宗法要〕

●11時
〔叙任式〕

●14時
〔日中法要〕
(行列開始 13時30分)

●10時
〔一宗法要〕

●10時
〔叙任式〕

●15時30分
〔御忌施餓鬼会百萬霊回向〕

●15時30分
〔霊廟・墓地先亡追悼会、諸講中先亡追悼会〕

●15時30分
〔結願〕



「御忌施餓鬼会百萬霊回向」のご案内

御忌期間中、毎年、6日に「御忌施餓鬼会百萬霊回向法要」を大殿本堂にてお勤めします。この法要は、増上寺御忌大会に際し、先亡各位の霊を供養するもので、「御忌施餓鬼会百萬霊回向之証」が授与されます。併せて、霊廟・墓地先亡追悼会、諸講中先亡追悼会が勤められます。

増上寺檀信徒の皆様をはじめ、浄土宗信徒の方々におかれましては、この御忌にちなんで施餓鬼会にぜひお申し込み下さいますようお願い申し上げます。(現金書留によるお申し込みも受け付けます。当日ご欠席の場合は後日郵送致します。)

「御忌特別回向」のご案内

御忌期間中、安国殿・黒本尊阿弥陀如来のご宝前において、特別回向の法要を随時お勤め致しております。御忌に当たり、元祖法然上人と御縁を結び、黒本尊様のご加護をいただくことができます。団参・参詣者の方どなたでもお申し込み下さい。

●日時……4月5〜7日(受付時間 午前9時〜午後3時、法要 午前10時〜)

●場所……安国殿 勝運黒本尊阿弥陀如来ご宝前

●冥加料……3千円

◆ 令和3年度

御忌



大木山増上寺

【徳川將軍家墓所】

秀忠公をはじめ6人の將軍、歴代將軍の正室側室及び子女多数が埋葬されています。どうぞお参り下さい。

●拝観時間……午前10時〜午後4時 ●拝観冥加料……500円



撮影：平剛 Royal Collection Trust / ©Her Majesty Queen Elizabeth II 2021

【増上寺宝物展示室】

大殿地下一階の増上寺宝物展示室では、英国ロイヤルコレクションから貸与を受けた徳川二代將軍秀忠公御廟の建築模型を中心に、狩野一信筆五百羅漢図などの所蔵文化財を展示しております。

●入館時間……午前10時〜午後4時
●入館料……一般700円(税込)
※徳川將軍家墓所拝観とのセット券 1000円

双盤念仏

東京教区玉川組慶元寺、本願寺、延命寺の檀信徒によって三門脇で奉納されます。元祖法然上人の時代から続く念仏を独特の節で唱えます。

常念仏(圓光大師堂)

圓光大師堂にて、大本山増上寺布教師会が常念仏を行います。どなたでもご参加できます。

4月5〜7日 10〜16時

屋外伝道

御忌期間中、大正大学浄土宗仏教青年会が、境内において屋外伝道を行います。浄土宗の将来を担う学生が、自ら原稿を起し実践するものです。

※新型コロナウイルスの影響により行事を変更・中止させていただく場合がございます。何卒ご理解の程よろしくお願い申し上げます。

【御忌】

浄土宗の元祖法然上人の忌日法要を「御忌」といいます。

法然上人は長承2年、西暦1133年、美作国(現在の岡山県)にお誕生になりました。幼少にして父を失い、それを機に出家の道を求め京都の比叡山にのぼって勉強し、当時の仏教・学問の全てを修した後、ただひたすらに仏に帰依すれば必ず救われる、すなわち南無阿弥陀仏を口に出して称えれば必ず仏の救済を受けて、浄土に生まれることができる、という称名念仏の教えを開かれました。そして、さまざまな受難と闘いながら、ひたすら私たちのために念仏をひろめるご聖業を続けられました。浄土宗のみ教えは日本の隅々にまで広がり、上人を讃える声は、念仏の声と共に高まりました。

法然上人の時代は、長い戦乱の時で、治安の乱れも激しく、民衆の社会不安や困苦が深刻化していました。上人は、こうした世相をじっと見つめられて、それまでの難しい仏教の殻から抜け出して、庶民の中に飛び込み、他力念仏の浄土宗の教えを打ち立てられたのであります。上人は「我れ浄土宗を立つる心は、凡夫の報土往生を示さんがためなり」と宣言されました。誰でも皆、南無阿弥陀仏と称えれば必ず救われる。それは私たちの力ではなく、阿弥陀仏の大きな慈悲の御力によって救われるのであります。「我れ汝を救う」と誓われた阿弥陀仏の大悲願が、他力本願の念仏であります。命終の時のみでなく、念仏の中に毎日毎日を送り、仏に見守られて、今を生きることに喜びを感じ、精進していくことが極楽往生の姿でありましょう。

法然上人には、元禄10年、西暦1697年、東山天皇から圓光大師の号が贈られ、その後約50年ごとに、代々の天皇から東漸・慧成・弘覚・慈教という大師号が贈られ、明治天皇から明照大師、昭和天皇から和順大師、明仁上皇から法爾大師の号がそれぞれ加諡されました。このようなことは、全く他に比類ないことで、法然上人がいかにご立派であられたかを拝察してなお余りあるものであります。

法然上人は、建暦2年、西暦1212年、正月25日、80歳で亡くなりましたが、上人のみ教えは今も、私たちの中に光り輝いています。御忌を迎えて、法然上人のご恩徳を讃えましょう。



法然上人像



江戸時代の御忌行列図

5日 日中法要 唱導師

秋田教区本念寺 須田道孝上人



- 昭和35年10月25日生
- 昭和57年11月本念寺第27世拝命
- 秋田教区教化団 団長
- 元秋田教区青年会 会長
- 元秋田教区 参事
- 前秋田市仏教会 理事

● 声明法要

縁山声明は関東風の力強い独自のものです。四智讃、伽陀、笏念仏、唱礼等をお唱えします。

御忌唱導師とは

増上寺御忌大会では、4月5日・6日・7日の午後2時より、唱導師による日中法要が奉修されます。本来、大本山における主要な法要はすべて大僧正台下が導師をお勤めされることになっておりますが、この御忌法要に限り、教化活動などに多大な功績のあった高德の上人に、大僧正台下に代わって唱導師という大役をお勤めいただく慣わしになっております。この由緒ある大法要に唱導師として選ばれることは、浄土宗僧侶として一世一代の榮譽とされています。この唱導師の大役が正式に決定し伝達されるのが、正月二十五日に増上寺大殿本堂で行われる教書伝達式です。元祖法然上人祥当の御忌日に、大僧正台下より親しく各上人に教書が伝達されます。



6日 日中法要 唱導師

東京教区妙定院 小林正道上人



- 昭和22年11月11日生
- 平成8年10月妙定院第14世拝命
- 増上寺浄土開宗五十年企画検討委員会委員長
- 学校法人芝学園 理事長
- 元浄土宗宗議会議員
- 元浄土宗出版室長
- 元公益財団法人全日本仏教会 理事長

● 引声阿弥陀経法要

阿弥陀経に節をつけ、笏で拍子をとリつつ唱え、極楽の八功德池の波の音のごとしと形容されます。

【練行列】

大法要の始まる30分前、江戸三大名鐘の一つに数えられる大梵鐘が鳴り響き、これを合図に大門からスタートします。行列は、先進―山旗 唱導師旗 木遣 寺侍 巡検 随喜寺院 吉水講 百味講 稚児 会行事 式衆 会奉行 侍者 唱導師 大傘 伴僧 法類随喜寺院 巡検 稚児 総代 寺院 後詰と続きます。



7日 日中法要 唱導師

千葉教区大巖寺 長谷川匡俊上人



- 昭和18年2月28日生
- 昭和41年9月大巖寺第61世拝命
- 浄土宗教学院 理事
- 学校法人大乘淑徳学園 理事長
- 社会福祉法人恩賜財団済生会 理事
- 公益財団法人全国青少年教化協議会 理事

● 浄土法事讃法要

浄土往生を願うために、阿弥陀経に基づいて阿弥陀仏とその極楽浄土の功德が讃えられます。

【お稚児】

大門からのお練行列には可愛いお稚児さんが参列します。お稚児は、諸天善神が姿を変えてお導師をお護りするさまを現しています。天の童ということで天童といひ、このお役を勤めたお子さんは丈夫に育つとされています。



【庭儀式】

唱導師が三門をくぐり境内に足を踏み入れる瞬間、二番鐘の音と共に三門楼上から無数の散華が舞い降り、参集の人々は、まさに極楽浄土と思える光景を目の当たりにします。行列が大殿前に差し掛かると舞台上で庭儀式が行われます。その後奏楽の中、唱導師が本堂に入堂し、御忌の大法要が厳肅裡に執り行われます。



7日 晨朝法要 御代理導師(元祖降誕会)

協議員(山梨教区教安寺) 高柳了志上人



- 昭和23年3月2日生
- 平成13年1月教安寺第33世拝命
- 山梨教区 教区長
- 前山梨教区教区議会議長
- 元山梨教区 参事
- 元甲府仏教会 会長

● 音楽法要

淑徳高等学校聖歌隊、増上寺合唱団が出陣し、仏讃歌を斉唱します。



【舞楽】

期間中毎日正午過ぎ、大殿前舞台において、80年の歴史と伝統を誇る大本山増上寺雅楽会会員による優雅な舞楽が奉納されます(雨天中止)。演目は「陵王」「還城楽」「散手」などです。